

地域福祉だより

No. 55



社協発 めるへん



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

—大分県総合防災訓練及び第13回玖珠郡総合防災訓練—

も・し・も 災害が起こったとき!!

社協も復興支援を 行ないます



災害時に迅速な対応を行なうために

去る6月1日に「大分県総合防災訓練及び玖珠郡総合防災訓練」が九重町栗野の河川敷を主会場に開催されました。

この防災訓練に玖珠町社協も九重町社協と合同で取り組み、九重町保健福祉センターの敷地内で災害ボランティアセンターと福祉避難所の設置訓練を行ないました。

社協では災害発生時に迅速な地域支援を行なうため、被災地域の支援とボランティアの活動を推進するため「災害ボランティアセンター」の設置と、一般避難所では不安のある高齢者や障がいをお持ちの方々が、看護師や介護士のケアを受けながら安心して過ごすことの出来る「福祉避難所」を開設します。

何時どこでいかなる形で発生するか分からないのが災害で、事前に予防や準備が出来るものではありませんが、せめて発生した後に迅速に対応することで被害を最小限に食い止めることは出来ます。

誰もが安心して過ごすことのできるまちづくりのため、社協では今後も災害時を含め地域支援に全力を尽くします。

玖珠町立古後中学校

指定年度	校長名	担当教諭名	生徒数
平成16年度	奥村光範	時松栄子	7名
平成17年度	奥村光範	遠山和幸	10名
平成18年度	藤川裕美	永松藍	11名

1. 指定1年目の活動目標並びに活動内容

(特徴的な活動とその内容)

- ・町内の授産施設「わーくす・たんぼぼ」での合同清掃活動と交流会。
- ・遠足と教育キャンプでの清掃活動。
- ・地区育成協主催「クリーンアップ古後」への参加
- ・学校菜園作り
- ・郷土芸能「大浦楽」への参加
- ・地区文化祭「古後のつどい」への参加
- ・小中合同グラウンドと体育館の環境整備作業
- ・生徒会と交通安全協会および育成協の挨拶運動とのタイアップ

2. 指定2年目の活動目標並びに活動内容

(特徴的な活動とその内容)

- ・車いす体験とその感想発表
- ・書き損じはがきの収集と県ユネスコ協会への送付
- ・生徒会と交通安全協会および育成協の挨拶運動とのタイアップ
- ・国際車いすマラソンへ補助員としての参加
- ・老人へ小中合同運動会の招待状送付
- ・清掃センターでのゴミ分別作業体験

3. 指定3年目の活動目標並びに活動内容

(特徴的な活動とその内容)

- ・花いっぱい運動
- ・県盲導犬協会についての学習とその感想発表
- ・ボランティア新聞の発行
- ・書き損じはがきの収集と県ユネスコ協会、県盲人協会への送付

4. 3か年の成果

少人数の特性を生かして全生徒全教職員で活動したので、感想や問題点などを共有することができ、反省を次に生かしていた。

生徒会を中心に生徒の自発的なボランティア意識が育ってきた三年間と考えられる。初期の段階では受動的な取り組みであった。しかし、様々な機会ごとに相手の方への配慮や喜んでもらえることが自分の充実感につながることを実感し、次の活動への意欲へつながっていった。三年次の本年度は、そうすることが当然であるかのような生徒の自然体で活動に取り組む姿が印象的である。特に三年生が少年の主張県大会で「体験を通して学んだこと」(優秀賞共感賞を受賞)と題し、発表した内容は象徴的であった。このことは、活動を通して自己存在感を確認できたり、将来の進路を考えたりするきっかけにもつながった。

5. 今後の課題として残ったもの

全校生徒で取り組めるので、前年度に活動した内容を踏襲していくことは容易であるが、新たな活動や創造的な活動を生徒自身が考え実行していくのは難しい面がある。また、活動ごとの視点や目的を再度はっきりさせ、企画運営していく態度を教職員と生徒がともに深めていかなければならない。

今年度でボランティア協力校の指定は終わるが、この三年間で定着した活動を継続させていきたい。この三年間の成果を生かし、ごく自然に継続的にできるボランティア活動をとおして、豊かな心を育み生きる力の育成につなげていきたい。



平成18年度 玖珠町社会福祉協議会事業報告書

平成19年5月24日 理事会認定・評議員会承認

- ◆理事会(6回)、監査会(1回)、
評議員会(5回)、合同研修会(2回)、
正副会長会(2回)、四役会議(3回)

- ◆県内外市町村視察来所 (3市町来所)

◆福祉啓発・調査活動

- ・広報活動の実施(情報誌めるへん隔月発行)
- ・2006年健康福祉ふれあいフェスタの共催
- ・2006年歳末たすけあいチャリティーショー協賛(事務局支援)
- ・ご意見箱の設置

◆共同募金・歳末たすけあい募金運動の実施

- ・赤い羽根共同募金運動実績 2,869,900円 (平成19年度配分予定額 1,499,000円)
- ・平成18年度地域配分金使途内容 福祉団体支援・地域福祉活動事業等 総額1,589,000円
- ・歳末たすけあい募金運動実績 879,986円
- ・歳末たすけあい募金配分内容 各種見舞金 他

◆在宅福祉サービス(独自事業・委託事業)

1. 独自事業

1) 介護保険事業

- ①居宅介護支援事業(ケアプラン作成・契約・
給付管理業務) 延べ利用人員 1,761人
- ②訪問介護事業(ホームヘルプサービス)
実利用人員 87人 延べ利用人員 491人
- ③通所介護事業(デイサービス)
実利用人員149人 延べ利用人員 5,392人
- ④訪問入浴介護事業(入浴サービス)
実利用人員 7人 延べ利用人員 30人

2) 障害者自立支援事業

- ①身体障害者居宅生活支援事業 実利用者数 1人
- ②知的障害者居宅生活支援事業 実利用人員 2人

3) 介護ホームみんなの家経営事業 実利用人員 6人

2. 委託・補助事業

①老人福祉センター運営事業

延べ利用者数13,480人 年間会場使用109回

②いきいき元気教室事業

延べ利用人員 938人 開所日数102日

③軽度生活援助事業

年間延べ利用回数154回 年間実利用人員 19人

④給食サービス事業

年間実施回数32回 年間延べ利用人員2,057人

⑤子育てサポートセンター事業

会員数140人 活動件数340件

⑥要介護認定訪問調査

5km以内52件 5km以上25件 他施設32件

⑦視覚障害者日常生活情報提供事業

点訳利用者5人 音訳利用者1人

⑧生活福祉資金貸付事業

年度内貸付件数0件 貸付金額0円

◆一般福祉諸活動

1) 総合相談事業

- ①法律相談 開設日数 6日 相談件数30件
- ②巡回相談 開設日数48日 相談件数10件

2) ボランティア育成事業

- ①夏のボランティア体験学習
参加者数36人 受け入れ施設6ヵ所

3) シルバー独身者ふれあい会

町内5ヵ所開催 参加高齢者数268人

4) いきいきサロン事業

開催場所町内18ヵ所

5) 法外更生資金貸付事業

年度内貸付件数5件 貸付金額420,000円

6) 死亡者への弔意及び罹災世帯への見舞等

- ①香典 件数233件
- ②災害見舞い 件数 1件

7) 寄付金品の受納

- ①特別寄付 52件
- ②香典返し 146件
- ③見舞返し 2件

8) 福祉機器貸出事業(3ヶ月間無料)

- ①車イス 23回
- ②電動ベッド11回
- ③ポータブルトイレ6回
- ④歩行器1回
- ⑤押し車4回
- ⑥安楽尿器1回
- ⑦杖2回

9) 福祉団体支援活動

- ①事務局支援団体
 - ・老人クラブ連合会(郡・町)
 - ・身体障害者協議会(町)
 - ・ボランティア連絡会
 - ・民生児童委員協議会
 - ・歳末たすけあいチャリティーショー実行委員会
 - ・健康福祉事業推進委員会
- ②事務局外支援団体
 - ・母子寡婦福祉会
 - ・たんぼぼの会(知的障害者育成会)
 - ・玖珠町保護区保護司会
 - ・むつみ会(玖珠共同作業所)

平成18年度 玖珠町社会福祉協議会決算状況

平成19年5月24日 理事会認定・評議員会承認

一般会計資金収支決算書

(自)平成18年4月1日 (至)平成19年3月31日 (単位:円)

		勘定科目	決算額
經常活動による収支	収入	会費収入 (皆様からの会費収入です)	6,673,000
		寄附金収入 (皆様からの寄附金・香典返しなどの収入です)	6,022,519
		經常経費補助金収入 (町からの補助事業補助金収入です)	9,462,000
		受託金収入 (県・町からの委託事業委託金収入です)	9,351,385
		共同募金配分金収入 (赤い羽根募金・歳末たすけあい募金実績から配分された収入です)	2,468,986
		介護保険収入 (介護保険事業での収入です)	99,519,125
		その他の収入 (上記以外の収入です)	6,109,018
		經常収入計 ①	139,606,033
	支出	人件費支出 (社協役職員の人件費です)	89,340,450
		事務費支出 (社協事務局・事業事務費の支出です)	4,112,722
		事業費支出 (委託事業・介護保険事業などの事業費支出です)	28,288,760
		その他の支出 (上記以外の支出です)	2,002,446
	經常支出計 ②	123,744,378	
經常活動資金収支差額 ③=①-②		15,861,655	
施設整備等による収支	収入	施設整備等寄附金収入 (施設整備等で固定資産を購入するための補助金収入です)	0
	施設整備等収入計 ④	0	
	支出	固定資産取得支出及び繰入支出 (固定資産を購入するための支出です)	854,700
	施設整備等支出計 ⑤	854,700	
施設設備等資金収支差額 ⑥=④-⑤		△854,700	
財務活動による収支	収入	積立預金取崩収入 (積立預金を取り崩した収入です)	20,441
	財務収入計 ⑦	20,411	
	支出	積立預金積立支出 (基金へ積み立てた支出です)	27,483
	その他の支出 (退職積立預け金の支出です)	4,322,690	
	財務支出計 ⑧	4,350,173	
財務活動資金収支差額 ⑨=⑦-⑧		△4,329,732	
当期資金収支差額合計 ⑩=③+⑥+⑨ 当期増加した資金です		10,677,223	
前期末支払資金残高 ⑪ 前期からの繰越額です		37,740,877	
当期末支払資金残高 ⑩+⑪ 平成19年度への繰越額です		48,418,100	

公益事業特別会計

(自)平成18年4月1日 (至)平成19年3月31日 (単位:円)

		勘定科目	決算額
經常活動による収支	収入	事業収入 (利用料収入です)	539,050
		その他の収入 (上記以外の収入です)	392,470
		經常収入計 ①	931,520
	支出	人件費支出 (職員の人件費です)	1,100,136
		事務費支出 (事務費の支出です)	600
		事業費支出 (事業活動での支出です)	429,332
經常支出計 ②	1,530,068		
經常活動資金収支差額 ③=①-②		△598,548	
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入 (固定資産を売却した収入です)	248,234
	施設整備等収入計 ④	248,234	
	支出	固定資産取得支出及び繰入支出 (建物の増改築の費用です)	0
施設整備等支出計 ⑤	0		
施設設備等資金収支差額 ⑥=④-⑤		248,234	
財務活動による収支	収入	財務収入計 ⑦	0
	支出	財務支出計 ⑧	0
	財務活動資金収支差額 ⑨	0	
当期資金収支差額合計 ⑩=③+⑥+⑨ 当期減少した資金です		△350,314	
前期末支払資金残高 ⑪ 前期からの繰越額です		350,314	
当期末支払資金残高 ⑩+⑪ 平成19年度への繰越額です		0	

財務帳票を閲覧できます

玖珠町社会福祉協議会では、法人の財務帳票を閲覧することが出来ます。ご希望の方は、事務局へお申し出ください。



(平成19年4月5日
～平成19年5月29日)

香典返し

萩ヶ原 小田 頼彦様
唐 杉 麻生 一雄様
滝ノ原 中村 太郎様
神原 宿利 富雄様
山の手 日隈 勝彦様
春日町3-2 宿利 悦子様
下泊里 山本 一生様
鳥屋 金丸 智男様
志津里 原口 茜様
帆足本村2 中島 武彦様
寺村 梅木 祐治様
上田2 梶原 登喜男様
今村 麻生 靖様
馬勢 井上 喜久男様
たかす 藤原 美代子様
大阪市豊中市西泉丘

福田 修一様

ありがとうございました



おおいた国体マスコットキャラクター
「めじろん」

本人の了承を得て
掲載しています

唐 杉 麻生 一雄様
森南 部 婦 人 会 様

物品寄付

住吉 町 西倉 竹子様
九重町菅原アマチュアバンド
チャリティライブ実行委員会
代表 矢野 正三様
他 匿名 2 件

寄付金

2007年 夏の体験ボランティア月間

参加者大募集

今年の夏休みの計画はどうなっていますか？
山へ行ったり海へ行ったりとレジャーや旅行など
スケジュールを組んでいることと思いますが、
いつもとひと味違った夏を過ごしてみませんか？
社協では町内の保育園や高齢者・障害者などの
福祉施設で活動を行なうボランティアを募集しています。
「子どもが好き」「介護の体験をしてみたい」という方や
「いつもと違う夏休みを過ごしたい！」という方々など、
多くの方のご応募をお待ちしております！



昨年も34名の方々が、
この“夏ボラ”に参加しました。
「とても面白かった」
「良い経験になった」
「子供たちが元気いっぱい
元気をもらいました」など、
参加して良かったとの
声が届いています。



☆対象者：小学生～社会人

☆募集開始：6月20日～

☆活動期間：平成19年7月20日～8月31日（内、原則3日間）

☆応募先：所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、
玖珠町社協か学校の担当の先生まで
お申し込み下さい

☆活動先：町内保育園、福祉施設など
（パンフレットでご確認下さい）

☆参加費：140円(ボランティア活動保険料)

詳しいことは社会福祉協議会（72-5513）までご連絡下さい

7月・8月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
7/1	2 ■老人福祉センター 休館日	3 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	4 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	5 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	7 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
8	9 ■老人福祉センター 休館日	10 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	11 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	12 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	13 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■点字学習会 (福祉センター)	14 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
15 ■給食サービス	16(海の日)	17 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	18 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	19 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	20 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	21 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
22	23 ■老人福祉センター 休館日	24 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	25 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■心配ごと相談会 (老人福祉センター) ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	27 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター) ■点字学習会 (福祉センター)	28 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
29	30 ■老人福祉センター 休館日	31 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	8/1 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	2 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	3 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	4 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
5 ■給食サービス	6 ■老人福祉センター 休館日	7 ■ふれあい福祉バス (大野原線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	8 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	9 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	10 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■点字学習会 (福祉センター)	11 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
12	13 ■老人福祉センター 休館日	14 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	15 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	16 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	17 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線)	18 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
19	20 ■老人福祉センター 休館日	21 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	22 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線) ■法律相談会 (福祉センター・要予約) ■心配ごと相談会 (老人福祉センター)	23 ■ふれあい福祉バス (小野原線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	24 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■点字学習会 (福祉センター)	25 ■おもちゃ図書館 (福祉センター) ■給食サービス
26 ■童話の里くす すこやかフェスタ (メルサンホール)	27 ■老人福祉センター 休館日	28 ■ふれあい福祉バス (大野原線)	29 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線)	30 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	31 ■ふれあい福祉バス (鏡山・古後線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	

みなさんの声募集中

めるへんでは皆様の声を募集しています。紙面に関するご意見、ご質問又は福祉に関する疑問など何でもOK。もし何かございましたら珠珠町社会福祉協議会までお寄せ下さい。

編集後記

表紙記事になっていますが、社協では先日防災訓練に参加しました。これは豪雨による水害を想定した訓練で、社協としてもはじめて本格的な訓練をしました。

しかし一口に災害といっても震災や水害、火災など多種多様に分別され、また同じ枠内でも場所や時間、天候など条件が一つ一つ違うので画一的な対応は不可能です。そういった意味では訓練といっても現実的な効果に疑いもたれます。

しかし日頃の備えをきちんとしておくことで、いざという時の心構えや行動に成果が現れるでしょう。みなさんも折を見て、家庭や地域での災害に対する備えを見直してみたいかがでしょうか？ 何時起こるか分からないが、起こってからでは意味がないのが防災です。

私たちの日常生活を営むため、常日頃から防災を心掛け、災害が起こってしまっても、慌てることなく家族や地域で支えあつてこの出来の社会を作っていきたいです。



印刷／くす印刷センター
大分県玖珠町大字軌足225-3
TEL:72-0457 FAX:72-6822